

# かすみ草

社会福祉法人 黒松内つくし園  
黒松内町デイ・サービスセンター  
管理者 吉田 剛  
寿都郡黒松内町字黒松内562-4  
TEL 0136-72-3750  
FAX 0136-72-3899  
Mail k.daysservice@  
tsukushien.or.jp

## 気持ちを新たに

### 令和4年度スタート

黒松内町デイ・サービスセンター

管理者 吉田 剛

記録的な大雪だった黒松内。まだそこかしこに雪が残る中ではありますが、日に日に暖かさが増し、春の訪れを感じる頃となりました。

利用者の皆様、日頃より黒松内町デイ・サービスセンターをご利用頂き誠に有り難うございます。また、ご家族の皆様、関係機関の皆様、当センターの運営に際しまして日頃よりご支援、ご協力を頂き感謝申し上げます。

利用者の皆様には、未だコロナウイルス感染症に関連して、検温、手洗い、うがい、消毒等にご協力を頂き感謝いたします。このような感染症対策を実施し、これまで当センターで発生することなく粛々と営業が続けて来られたことに合わせて感謝申し上げます。

新年度スタートにあたり一言申し上げます。いつもお話させて頂いていることになりましたが、『笑う門に福来る』という言葉もあるように、ため息やふさぎ込んだ気持ちなど、そういった嫌な気持ちなどを吹き飛ばすように、デイサービスに来られ、いっぱい笑って下さい。職員は、たくさん盛り立てて笑いを提供して下さい。今日も一日利用して、嫌な気持ちも吹き飛ばし、楽しかった。と思つて頂けるようこれからも取り組んで参ります。また利用者の皆様が安心して住み慣れた自宅で継続して生活できる支援を目指し、ご家族様も安心して任せられる事業所として担うことを目指します。そして、地域から一層の信用と信頼を得て高齢者福祉の中心的な役割を担えるよう日々研鑽に努めます。今後とも職員一同、力を合わせて取り組んで参ります。皆様、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

## 長い間お疲れ様でした

看護師 小林 千草

デイ・サービスセンターが開設して30年。私もほぼ同年通いました。一つの節目として、この度3月31日で退職することを決めました。

利用者の皆様には一日一日を自分らしく生活が続けて行かれることを祈っています。職員の方々には、益々の向上心を持って支援をして頂けるものと思っております。

長年、この職場への関わりを持てたことは自分のこれからの生活にプラスになったと思えております。本当にありがとうございました。



## よろしくお願ひします

看護師 嶋 千敦

4月よりデイ・サービスセンターと緑ヶ丘老人ホームに勤務することになりました。

長年支えて来られた小林看護師の後任ということで、自分出来るのかとても不安な気持ちでいっぱいです。利用者の皆様、職員さんに教えて頂きながら、少しでも力になれるよう頑張りますので、宜しくお願いします。



## 交通安全

この所の暖かさで雪解けが一気に進みました。道路には雪がなく、運転する者にとっては1つ不安がなくなったと言えます。その半面では開放的な気分からか、スピードが出ている車をよく見掛けるようになりました。『運転手は「〇〇かも知れない」と思って運転を下さい。』と、教習所等で習うのですが、人間、いつしかその気持ちを忘れてしまっています。

利用者の皆様、交通事故にあわれないように、十分に気を付けて下さい。

- ・左右の確認
- ・信号のある所を渡る
- ・横断歩道を渡る
- ・道路の斜め横断はしない
- ・余裕を持って道路を渡るに、努めて下さい。

**おめでとうございます♪**

3月に誕生日を迎えられた7名の利用者様。誕生者紹介の際に、「まだ3枚目だから、まだまだ、ためたいね。」と意気込みを語られる方。「祝ってもらって嬉しいけど、恥ずかしい。」と話される方など、反応はそれぞれでした。改めて、おめでとうございます。



月	火	水	木	金
				1 フリータイム
4	5	6	7	8
フリータイム				
11	12	13	14	15
道の駅ドライブ				
体重測定				
19	20	21	22	23
誕生会 皆勤賞・精勤賞表彰式			皆勤賞 精勤賞表彰式	
25	26	27	28	29
フリータイム				

4月生まれの利用者の皆様 おめでとうございます

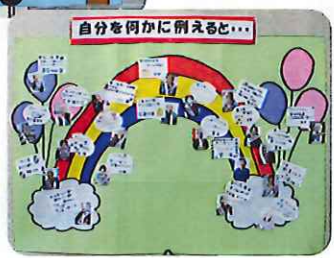


月曜日  
火曜日  
水曜日

岡部 忠勝様  
今田 トミエ様  
中尾 トシ悦様  
小嶋 悦子様  
大澤 秀子様



利用者の皆様に『宝くじに当たったら何をしますか?』と『自分を何かに例えらると?』の2つの質問した所、色々な答えが返って来ました。例えば、『宝くじ:』は、このコロナ禍だからこそ「旅行」という答えが多く見られました。『自分を:』は、花に例えられる方、飲み物に例えられる方など様々。なぜ?と理由を聞いてみると、なるほど!と思ってしまうものが多かったです。ぜひ、近くでご覧下さい。



何やら楽し気な背景と顔写真と共に掲示

【編集後記】  
このかすみ草を作成している時は、まさに選抜高校野球大会決勝戦前夜でした。姿が大きく見えた幼い頃。自分も高校生になったあの頃。そして、自分の子どもが球児と同年となった現在。時の流れは早い。変わらないのは、甲子園という夢の舞台上に立った球児の目の輝き、白球を追う気迫、打席に立った時の気合であろうか。新年度がスタート。おじさんも負けてられないな。と思いました。  
「たかみつ」